

私がまず30分、「Setting the tone」的に、私がこのブログでも繰り返し述べている「3.11で世界に丸見えになった日本の強さと弱さ、その原因の本質」について話しました。野中さんは、一橋大学「ビジネススクール」を立ち上げて10年、去年Harvard大学へ戻った竹内弘高さんとの共著論文「The Wise Leader」がHarvard Business Review、May issueに出たばかり。これで30分の話を始め、その後は参加者とも60分ほど質疑応答があり、とても知的興奮に満ちた時間が経っていったと思います。野中さんも私も、知識ではなく、「リベラルアーツの大事」から感じ取っている志（こころざし）、思想と共通善といった価値観、そして実践、行動、判断から学ぶ英知、経験

知といった点を強調していたように思います。ちょうど「Voice」7月号が「菅政権、失敗の本質」という特集であり、その筆頭に野中さんが「リアリズムなき政治家が国を壊す」という論文を書かれています。野中さんは話の途中で、「3.11」以後、何か「失敗の本質」の議論が盛り上がったんですよ、といわれました。「今回3.11後の日本の対応は「失敗の本質」と同じことを繰り返している、「リーダー」たちは何も学んでいない」と私を含め何人かが指摘し、twitterなどで発信していましたよ、とお答えしました。いずれビデオなどの形でこの対談をお見せできると思いますのでそのときにまたお知らせします。

会の終了後、参加者からたくさんのtwitterやメールがあり、またBlogもアップされています。なかには黒川先生の力強いお話を聞いて「おもわず涙ぐんでしまった」というものもありました。イベントの収益金17万円は被災地の復興活動へ寄付されるということで、被災地団体の宮城災害復興支援センターへ持参されました。（文責：八代英美）



《予告》 第3弾 10月24日(月)

「国際金融の新たな課題」と題して、スピーカーとしてUCバークレー(1982MBA)の中尾武彦財務官に迎え、コメンテーター・モデレーターとしてUCLA(1987MBA)の洪澤健・COMMONZ投信会長をお迎えした会を東京21cクラブにて19時より開催致します。



9月12日(月) アンダーソンの会

9月12日UCLAアンダーソンスクールの75周年記念パーティが六本木のグランド ハイアット 東京ホテルで開催されました。本校からはディーンの Judy Olian さん以外に、UCLA Japan Alumni ChairのMark Grinblatt教授らも来日され、日本側では、UCLA同窓会の第2代会長の林瑞祥さんや、第5代会長の佐治信忠さんが、影響力のある卒業生100名(100 highly inspirational UCLA Anderson alumni)として選ばれ、表彰されました。同時に財務省関東局長の柴生田敦夫さんや、スターバックスコーヒー日本の元CEO岩田松雄さんも表彰されました。さらに、UCLA日本同窓会の皆さんから母校に5年程前に寄付を頂いて、UCLA Japan Alumni Chairが設定されて、担当教授が世界的にも活躍されていること

はご存知の通りですが、新しくJapan Alumni Chairの担当教授が任命されました。新しい担当教授のInternational FinanceのDr. Mark GrinblattにAnderson同窓会でご

講演を頂きました。会場には第7代会長の村井勝さん、現会長の黒川清さん、衆議院議員の平智之さんもお見えになり、総勢50名以上の盛況となりました。



Dean Olianと林瑞祥さん

9月14日(水) UC知財の会第1回会合報告

9月14日(水)に新宿にてUC知財の会第1回会合が開催されました。参加者は、U

CLA出身2名、UC Davis(以下UCD)出身2名、その他1名の、合計5名でした。

この度、UC知財の会第1回会合が開催された経緯は、以下の通りです。6月4日に